

古賀市中期財政見通し

(令和6年度～令和10年度)

令和5年10月
総務部財政課

1. 目的

将来にわたって計画的・安定的な行財政運営が求められていることから、中期的な財政収支を推計し、今後の行財政運営や予算編成にあたっての参考とするため、中期財政見通しを作成します。

2. 期間

令和6年度から令和10年度までの5年間

3. 対象

一般会計

4. その他

市の財政事情は、社会経済情勢の変化や、国の制度改正及び地方財政制度の動向等に大きく左右されることから、変動する場合があります。

5. 推計条件

今後の財政見通しについては、次の条件に基づいて推計しました。

区 分		推計条件
歳入	市税	<ul style="list-style-type: none"> ・個人市民税は、過去3年の調定額に、均等割額の税率変更、社会経済情勢等の影響を見込み推計 ・法人市民税は、新税率の適用となった過去2年の調定額に、社会経済状況等の影響を見込み推計 ・固定資産税は、令和5年度調定額に新築見込み、新築軽減の終了、令和6年度評価替え等を見込み推計
	地方譲与税・交付金	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度決算額と同額の見込み
	地方交付税	<ul style="list-style-type: none"> ・普通交付税は、臨時財政対策債を令和5年度通知額と同額と見込み、市税等の増減や公債費の交付税措置等を見込み推計 ・特別交付税は、令和4年度決算額と同額の見込み
	国県支出金	<ul style="list-style-type: none"> ・扶助費に対する支出金は、扶助費の伸び率等により推計 ・普通建設事業費に対する支出金は、過去の実績や事業費の積上げ等により推計
	繰入金	<ul style="list-style-type: none"> ・財政調整基金から3.5億円の繰入れを想定 ・ふるさと応援寄附基金は、積立金と同額の繰入れを想定
	繰越金	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度歳入歳出差引額を計上
	市債	<ul style="list-style-type: none"> ・普通建設事業費の積上げ等により推計 ・臨時財政対策債は、令和5年度通知額と同額の見込み
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金、諸収入合計 ・ふるさと応援寄附金は、令和4年度決算額と同額の見込み
歳出	人件費	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度決算額を基準に、会計年度任用職員人件費等を見込み推計
	扶助費	<ul style="list-style-type: none"> ・過去5年の伸び率等により推計
	公債費	<ul style="list-style-type: none"> ・市債の過去の借入実績及び今後の借入見込みにより推計
	物件費	<ul style="list-style-type: none"> ・過去5年の新型コロナウイルスワクチン接種に係る経費を除いた平均値等により推計
	補助費等	<ul style="list-style-type: none"> ・過去の実績や下水道事業会計負担金見込み等により推計
	積立金	<ul style="list-style-type: none"> ・財政調整基金に前年度歳入歳出差引（実質収支）の2分の1の積立を想定 ・ふるさと応援寄附基金に寄附額と同額の積立を想定
	繰出金	<ul style="list-style-type: none"> ・各特別会計への繰出金見込みにより推計
	投資的経費	<ul style="list-style-type: none"> ・普通建設事業費は、過去の実績及び事業費積上げ等により推計 ・災害復旧事業費は、過去5年の最大値と同額の見込み
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・維持補修費、投資及び出資金・貸付金の合計 ・維持補修費は、過去5年の最大値と同額の見込み

6. 今後の財政見通し

(単位：百万円)

区 分		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
歳入	市税	7,500	7,551	7,561	7,572	7,584
	地方譲与税・交付金	1,917	1,917	1,917	1,917	1,917
	地方交付税	3,829	3,814	3,832	3,833	3,814
	国県支出金	6,322	6,863	6,517	7,078	7,375
	繰入金	1,418	1,418	1,418	1,418	1,418
	繰越金	1,488*1	968	459	9	339
	市債	1,275	2,264	2,036	1,528	1,890
	その他	1,874	1,886	1,914	2,008	1,870
	歳入合計①	25,622	26,680	25,653	25,363	26,207
歳出	人件費	3,233	3,233	3,233	3,233	3,233
	扶助費	6,572	6,708	6,847	6,989	7,134
	公債費	1,537	1,582	1,590	1,645	1,673
	物件費	3,513	3,410	3,333	3,333	3,333
	補助費等	3,272	3,126	3,125	3,125	3,118
	積立金	1,812	1,552	1,297	1,073	1,238
	繰出金	2,259	2,330	2,397	2,473	2,555
	投資的経費	2,045	3,869	3,410	2,741	3,127
	その他	411	411	411	411	411
	歳出合計②	24,655	26,222	25,644	25,023	25,822
歳入歳出差引(①-②)		968	459	9	339	385*2

区 分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
基金 年度末現在高	8,631*3	9,042	9,195	9,092	8,765	8,602*4
市債 年度末現在高	15,263*5	15,054	15,794	16,309	16,271	16,573*6

※基金、市債年度末現在高は、出納閉鎖後(5月末)の現在高を表記しています。

※表示単位で四捨五入しているため、数値の合計が一致しない場合があります。

7. 総 括

一定の条件の下、今後の財政収支を見通すと、扶助費や投資的経費の増加等により、令和10年度の次年度繰越金(=令和10年度歳入歳出差引*2)は、令和5年度の次年度繰越金(=令和6年度繰越金*1)より約11億円減少します。また、令和10年度の基金現在高*4は令和5年度*3とほぼ同額ですが、市債現在高*6は令和5年度*5より約13億円増加する見通しです。

健全財政の推進のためには、この見通しを参考に、予算編成の中で財源の確保や歳出の見直し等、収支改善に取り組む必要があります。